

コース名	脱炭素経営の進め方【虎ノ門】 ～カーボンニュートラルを取り入れた経営計画を策定し、選ばれる企業へ転身する！～			
研修のねらい	得意先や関係先から脱炭素の取組みを求められる企業が増えていますが、脱炭素の取組みが必要とわかっていても、何をすればよいのか？何から手をつけたいのか？どのレベルまで求められるのか？などよく理解されていないのが実情といえます。 本研修では、カーボンニュートラルが求められる背景を詳しく理解し、脱炭素計画の策定、対策の検討、ロードマップの策定まで事例を通じて学びます。研修のまとめとして、自社のアクションプランを作成し、脱炭素経営への一歩を踏み出します。			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の状況、世界情勢、国際的な取組みから「なぜ、今、カーボンニュートラルが求められているのか？」が理解できます。 他社事例を通じて、脱炭素計画～対策～ロードマップ策定までを学びます。 事例を踏まえて、自社の脱炭素経営に向けたやるべきこと（アクションプラン）を作成します。 			
会場	中小企業基盤整備機構 本部 9階会議室（東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル）			
研修期間	2024年8月7日(水曜)～8月8日(木曜)（2日間） (詳細)第1回2023年8月7日(水曜),第2回8月8日(木曜)			
対象者	経営幹部、管理者 ・CO2削減に取り組んでいる方、検討している方 ・カーボンニュートラルを通じて企業価値の高め方を学びたい方 ・CSR担当者	定員	20名	受講料 22,000円

日付	時間	科目	内容	講師
8/7 (水)	9時20分～9時30分	オリエンテーション		合同会社サカタ経営 代表社員 坂田 卓也
	9時30分～11時30分	カーボンニュートラルが求められる背景	脱炭素経営が求められる背景を学び、カーボンニュートラル達成が求められる今後の経営環境について、グループディスカッション等を通じて理解します。 <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル(CN)が求められる背景 国際的なイニシアチブ（TCFD、SBT、RE100） 気候変動枠組み条約、京都議定書とパリ協定、日本のカーボンニュートラルの目標 カーボンバジェット(炭素予算)の考え方 脱炭素経営の必要性、SDGsと脱炭素 自社を取り巻く環境の変化 	
	11時30分～16時30分 (昼休 12時30分～13時30分)	脱炭素計画策定のステップ 【事例演習】	事例を通じて、脱炭素経営計画策定のステップを学びます。 <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素経営計画策定のステップ 脱炭素経営計画を策定する 1) 全社のCO2排出量計算 CO2排出量算出方法 CO2排出量の算出演習 	
9時30分～12時30分 (昼休 12時30分～13時30分)	2) 工程毎のエネルギー使用量、CO2排出量を計算する <ul style="list-style-type: none"> 電流値の測定、電力量の計算 エネルギーフローの作成、CO2排出パレート図の作成 			
8/8 (木)	13時30分～16時30分	脱炭素経営に向けたアクションプランの作成	3) SBTに準拠した目標の設定 <ul style="list-style-type: none"> 目標設定はバックカスティング SBTに則した削減目標を算出する 	
	16時30分～16時40分	修了証書の授与	4) 改善策の検討 <ul style="list-style-type: none"> CO2削減対策の考え方 省エネ、電化、排出係数の低減 カーボンニュートラルとは 脱炭素対策の勘所 他社の脱炭素、省エネ事例、サイトの紹介 脱炭素対策の検討 想定効果と目標値の確認 目標達成できない場合の考え方 プロセスフローの見直し、ビジネスモデルの見直し など 	
			5) ロードマップの策定 <ul style="list-style-type: none"> 2030年および2050年に向けたロードマップの作成 見直しサイクル(PDCAサイクル)の作成 	
			今まで学んできた脱炭素の計画策定を踏まえて、自社の脱炭素経営に向けたアクションプランを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素に活用できる制度や補助金 中小機構の制度 自社のアクションプランの検討 全体発表 	

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
合同会社サカタ経営 代表社員 坂田 卓也	日本大学大学院理工学研究科（機械工学専攻）を修了後、大手印刷会社・蓄電システム開発会社を経て、経営コンサルタントとして独立。経営工学（IE）を活用した生産性改善、品質管理（QC）・品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化等のコンサルティングを行う他、省エネルギー診断やSBTの計画策定など脱炭素に係わる取り組みにも従事。印刷関連業・金属加工業・食品加工業・繊維業など幅広い業種の支援に携わっている。著書に「35歳からでも遅くない！夢をかなえる大人の家計簿」（自由国民社）。中小企業診断士。